

処遇改善・職場環境等要件「見える化」について

区分	内容	当法人の取り組み
入職促進に向けた 取り組み	法人や事業所の経営理念やケア方針・人材育成方針、その実現のための施策・仕組み等の明確化	新人、現任研修の中で法人の経営理念・指針の浸透を図っている。ステップアップに向けての面談等を行っている。
	他産業からの転職者、主婦層、中高年齢者等、経験者、有資格者にこだわらない幅広い採用の仕組みの構築	年齢も問わず積極的に募集面接を行っている。訪問介護は65歳以上の訪問介護員を継続雇用している。
資質の向上やキャリア アップに向けた支援	働きながら介護福祉士取得を目指すものに対する実務者研修受講支援や、より専門性の高い介護技術を取得しようとする者に対する喀痰吸引認知症ケア、サービス責任者研修、中堅職員に対するマネジメント研修の受講支援	法人が認める各種研修については、受講の支援(受講料・旅費)勤務調整考慮を行っている。介護福祉士受験に関して研修の勤務調整を行い、3万円を支援する。
	職員の事情等の状況に応じた勤務シフトや短時間正規職員制度の導入、職員の希望に即した非正規職員から正規職員への転換の制度等の整備	職員の事情、状況に応じて勤務調整を行っている。パート職員に関して短時間勤務を取り入れている。「非正規職員から正職員への転換について」のお知らせを掲示している。
両立支援・多様な 働き方の推進	有給休暇が取得しやすい環境の整備	有給休暇取得促進の取り組みを行っている。
	介護職員の身体の負担軽減のための介護技術の修得支援介護ロボットやリフト等の介護機器等導入及び研修等による腰痛対策の実施	電動ベット・シャワーキャリー・浴室のバスリフトを導入。介護技術研修を行う。
腰痛を含む心身の 健康管理	短時間勤務労働者等も受診可能な健康診断・ストレスチェックや従業員のための休憩室の設置等健康管理対策の実施	職員全員に健康診断を実施する。ストレスチェックを行う。職員休憩室の確保
	事故・トラブルへの対応マニュアル等の作成等の体制の整備	各種委員会の運営やマニュアルの作成を実施する。腰痛対策や心身の健康管理の予防研修を行う。
生産性向上のための 業務改善の取組	タブレット端末やインカム等のICT活用や見守り機器等の介護ロボットやセンサー等の導入による業務量の縮減	タブレット導入により業務量軽減を図っている。
	高齢者の活躍(居室やフロア等の掃除、食事の配膳、下膳などのほか、経理や労務、広報なども含めた介護業務以外の業務の提供)等による役割分担の明確化	業務内容の役割分担を行い、浴室フロア等の掃除に高齢者を採用依頼している。
	5S活動(業務管理の手法の1つ。整理整頓清掃・躰の頭文字をとったもの)等の実践による職場環境の整備	職場のチェック表にて5S活動の徹底を図っている。
	業務手順書の作成や、記録・報告書様式の工夫等による情報強要や作業負担の軽減	介護ソフトの活用による情報共有、記録の電子化による業務の効率化を図っている。個人の意見が反映できる仕組みづくりを行っている。
やりがい・働きがいの 醸成	ミーティング等による職場内コミュニケーションの円滑化による個々の介護職員の気づきを踏まえた勤務環境やケア内容の改善	朝礼、終礼や申し送りでの情報共有、ヒヤリハット報告を活かしてケアの改善を図っている。
	ケアの好事例や、利用者やその家族からの謝意などの情報を共有する機会の提供	毎月行われる研修で意見交換を行い、ケア内容の改善を検討している。又、利用者や家族の情報はその都度職員と共有している。